

# 四ツ家教会ホームページ リニューアルのすすめ

2013.8.3

Takeshi Onodera

# はじめに

わたしが御ミサに参加したのは、2011年のクリスマスです。

比較的子どもたちの姿が見受けられました。

でも、翌週からの御ミサは若い人が少なく、かなり衝撃的でした。

20～30年先の四ツ家教会を想像してみましょう。

何人の方が御ミサに与っているでしょうか？

信徒数を維持できるでしょうか？

教会が維持できるでしょうか？

教会のために単純に、今わたしができること。

それがホームページのリニューアル(改装)です。

# 現状の把握

教会の信徒数の推移はいかがでしょうか？

仙台教区 2006 (10,819 人)～2011 年 (10,326 人) で

増減は多少ありますが、5 年で 4.6% 減。

試算では高齢化などを鑑みて、5 年で 5% 減を目安にしてみます。

カトリックの教会維持費は 1 ヶ月の収入の 5% が目安らしいので ...

(岩手県の発表している〔市町村民所得概要〕平成 22 年によると)

盛岡市の平均収入は、270 万円

転職サイトの岩手県の平均年収 390 万円 (サラリーマン賃金と思われる)

↓

解りやすく 300 万円で試算してみる。

$3,000,000 \times 0.05$  (5%) = 150,000 円 / 年 => 12,500 円 / 月

↓

信徒数 100 人として

1,250,000 円 / 月 15,000,000 円 / 年相当

## シミュレーション 1 (試算)

5年で5%の信徒数が少なくなると、  
20年後、100人→81.45人だが、計算上は80人としてみる。

年収が同じだったと仮定して、  
1,000,000円/月 12,000,000円/年相当

教会の現状を鑑みて、本当にこのくらいの減で済むでしょうか？

教会運営が苦しくなると、司祭数が減り、教会の統合が行われると考えられる。

### ● 司祭数の推移 (仙台教区) (カトリック中央協議会のPDFより)

	司教	教区			修道会・宣教会等			司祭合計		
		日本籍	外国籍	合計	日本籍	外国籍	合計	日本籍	外国籍	合計
2004年	0	30	2	32	0	20	20	30	22	52
2011年	1	20	1	21	0	15	15	21	16	37

## シミュレーション 2 (試算)

### ● 教会数の推移 (仙台教区) (カトリック中央協議会の PDF より)

	小教区	準小教区	巡回教会	集会所	合計
2004 年	56	0	10	0	66
2007 年	53	0	13	0	66
2011 年	53	0	8	0	61

全体として、少しずつ減っていることが明らかです。

信徒数は、少子高齢化時代、活動しなくても減ってゆくでしょう。  
他の地域から、流入されることは、余程の自然災害や事故でも考えにくい。  
流入で減少が鈍ったとしても、根本的解決にはなりません。

**小教区で出来ることを考える必要があります。**

## まとめ

1970年代、このような看板が良く目にとまりました。



この時代、高度経済成長を遂げ、オイルショックを向かえた頃でしょうか。  
人々がこころの隙間を埋めたい時代だったのではないのでしょうか。

今、キリスト教をはじめとする宗教が身近でない方々に、  
どんな活動で、ことばを伝えますか？

信徒の方々の教会というだけでなく、  
**四ツ家教会が、より親しみやすい存在となる  
必要があるのではないのでしょうか？**

# 四ツ家教会 ホームページの説明

2013.8.3

Takeshi Onodera

# はじめに

**小教区で出来る廉価な布教活動、  
そのひとつの方法がインターネットです。**

※これがすべてを解決する訳ではありません。  
ひとつの入口です。

「四ツ家教会ホームページリニューアルのすすめ」の  
考え方を基にすると、現在のプレビューページでも不十分だと考えます。

教会デビュー間もない方々には、  
開かれた教会というよりは、教会のルールに従ってね！  
というように見えます。

信徒の方々のためのホームページなのです。

## 開かれた教会のイメージづくりを

信徒の方々への利便性も考慮して、  
イベントや御ミサスケジュールなど、必要なものを残した上で、  
トップページには、新たに興味を持ってくださった方へ  
メッセージ性の高さや開かれたイメージづくりを。

教会や教義のしきたりを先に伝えるのではなく、  
こころの共鳴から、親しみやすい関係であれば、ゆくゆく学んでゆくものです。  
ぐっと我慢して、「教会では静かにしてね！」というのは、後回しにしましょう。  
小さな子どもやその親たちが、畏縮しない環境作りをしましょう。

誰でも子どもの頃はあります。  
多少、騒がしくても良いではありませんか？  
祈りにくいですが、微笑ましいではありませんか（笑）

# なぜ親しみやすさをウリにするの？

20～30代の大人が少ないからです。

なぜ、20～30代に向けた取り組みをすべきなのか？

教会の現状を拝見いたしますと、子どもが少ないからです。

少子化の時代、親が少ないのですから、子どもの数も減ってゆくのは必至です。

2世代先には、教会の不動産などのハード面を維持してゆくのが大変となり、

3教会を統合せざるを得なくなる場合も考えなければなりません。

加えて、信徒数が減ってゆく現状を受け止めて、支出の重要度・配分を再考すること、信徒数が減ったときのアクションを話し合っておくことが大切だと考えます。

話しはずれませんが、インターネットを利用することで、

(グループウェアを利用し) 別々の場所に居ながら、

空き時間で議論をすることも可能です。

## (やっと本題) CMS のおすすめ (WordPress を利用します)

カトリック多摩教会、カトリック田園調布教会をはじめ世界的に多くの企業・団体・個人サイトに利用されているシステムです。

### 〔メリット〕

- 基本的なシステムは、ライセンス料が無料。
- 多少の慣れは必要ですが、ブログ感覚で、特別な知識を必要としません。
- 複数人で作業が出来ます。(ユーザ登録)
- ユーザによって出来る範囲を限定できます。(権限を分けられる)
- 公開予約ができるので、忙しくなる前に準備できます。(未公開に限る)

### 〔デメリット〕

- 安全に運用するために、時々アップデートをする必要があります。(PC と同じ)
- データベースを利用するため、現在より少しコストがかかります。

- レンタルサーバ費 年額 6,000 円位～(月額 500 円位～)
- ドメイン費用 (com org 1,000～1,800 円/年 汎用 jp 数千円/年)

